

平成28年度 事業実施報告書

【期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日】

社会福祉法人志摩市社会福祉協議会

【 目 次 】

■ 経過報告	p. 2
■ I. 法人運営事業	p. 2
1. 組織経営基盤の充実強化	
2. 福祉拠点の充実	
3. 福祉活動の啓発	
4. 事業評価と今後の課題 [法人運営事業]	
■ II. 地域福祉活動推進事業	p. 11
1. ボランティアセンター事業	
2. 福祉教育支援事業	
3. 小地域福祉活動	
4. 受託事業	
5. 福祉サービス利用援助事業	
6. 赤い羽根共同募金運動の協力	
7. 当事者団体の活動支援、協力	
8. 事業評価と今後の課題 [地域福祉活動推進事業]	
■ III. 在宅福祉サービス事業	p. 26
1. 介護保険サービス関係事業	
2. 障がい福祉サービス関係事業	
3. ふくし移送サービス事業 [福祉有償運送事業]	
4. 事業評価と今後の課題 [在宅福祉サービス事業]	

平成 28 年度
社会福祉法人志摩市社会福祉協議会 事業報告書
＜平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日＞

〔 経 過 報 告 〕

平成 28 年度は、慢性的な赤字体質からの脱却に向け覚悟をもって臨んだ 1 年でありました。大幅な組織改革による管理職の削減、市との協議による受託事業の獲得や出向職員の増枠、指定管理経費の見直しなどに取り組みました。職員の賞与カット、自主・勧奨も含めた職員の退職も相当数あり平成 28 年度決算報告では、危機的な状況をどうにか回避したと評価しております。

しかし財源上の大きな課題であった総務部（総務課・地域支援課）の整理縮小を行った結果、窓口業務など地域の方々が戸惑う場面もあり、信頼関係の回復に努めなければなりませんし、本会の財源の柱となる介護保険・障がい福祉サービス事業の収入は、減少傾向が続いています。利用者の減少はもとより、介護・看護人材が確保できない社会環境の中、今後も更なる統合縮小が求められております。

本会を取り巻く環境が厳しさを増すなかでも、波切地区の会員募集及び共同募金活動の復活、間崎・的矢地区の生活拠点づくり、志摩町の社協拠点の確保に関する陳情など、地域の皆様の温かい応援があるのも事実です。平成 28 年に策定した第 3 次地域福祉（活動）計画において、地域に寄り添う地域支援コーディネーターの仕組みが位置付けられ、生活全体を包括した支援体制の確立が大きな命題となりました。「地域包括ケアシステム」や「生活支援体制」の分野に本会が培ってきた技術、経験は不可欠であり、財源の活路を模索していきたいと考えています。

新年度に向けて社会福祉法人改革に伴う事務手続きを着実に進め、新たな運営体制のもと、平成 28 年度の覚悟と実績を確かなものとするために、役職員が一体となって組織強化に取り組みます。

【志摩市の人口等の推移】

	平成 24 年 4 月	平成 25 年 4 月	平成 26 年 4 月	平成 27 年 4 月	平成 28 年 4 月
人口	56,224 人	55,526 人	54,595 人	53,592 人	52,645 人
世帯数	22,787 世帯	22,968 世帯	22,987 世帯	22,902 世帯	22,879 人
65 歳以上人口	17,947 人	18,370 人	18,748 人	19,001 人	19,250 人
高齢化率	31.9%	33.1%	34.3%	35.5%	36.6%

I. 法人運営事業

1. 組織経営基盤の充実強化

（1）組織機能の強化

地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに実施していくため、理事会・評議員会などを中心として、法人運営の強化を図りました。

〈1〉理事会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第1回] 4月25日	1. 理事・監事・評議員選任規程の一部変更について	理事14名	書面理事会
[第2回] 5月30日	1. 定款の一部変更について 2. 理事・監事・評議員選任規程の一部変更について 3. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 4. 職員給与の臨時特例に関する規程の一部変更について 5. 処務規程の一部変更について 6. ストレスチェック制度実施要綱の制定について 7. 平成27年度事業実施報告について 8. 平成27年度社会福祉事業会計収入支出決算について 9. 評議員の選任について	理事14名 監事1名	磯部健康福祉センターかがやき
[第3回] 7月16日	1. 会長及び副会長の選任について 2. 会長職務代理者（第3位理事）の選任について 3. 職員旅費規程の制定について	理事10名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき
[第4回] 9月28日	1. 社会福祉法人制度改革に伴う定款の変更について	理事9名 監事1名	磯部健康福祉センターかがやき
[第5回] 10月26日	1. 定款の全部改正について（社会福祉法人改革関連） 2. 従たる事務所の廃止について	理事9名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき
[第6回] 12月16日	1. 定款の一部変更について 2. 顧問の委嘱について 3. 評議員選任・解任委員会運営規程の制定について 4. 評議員選任規程の制定について 5. 理事・監事選任規程の制定について 6. 職員給与の臨時特例に関する規程の一部変更について 7. 選任定年制に関する規程の一部変更について 8. 平成28年度資金収支第1回補正予算について	理事10名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき
[第7回] 1月25日	1. 評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について	理事11名	書面理事会
[第8回] 2月28日	1. 平成29年4月以降の評議員候補者について	理事11名	書面理事会
[第9回] 3月30日	1. 平成28年度資金収支第2回補正予算について 2. 定款施行細則の全部改正について 3. 経理規程の一部変更について 4. 職員等人事評価実施規程の制定について 5. 職員就業規程の一部変更について 6. 契約職員・パート職員就業規程の一部変更について 7. 職員給与規程の一部変更について 8. 育児休業、育児のための深夜業の制限及び育児短時間勤務に関する規程の一部変更について	理事10名 監事2名	磯部健康福祉センターかがやき

	9. 介護休業、介護のための深夜業の制限及び介護短時間勤務に関する規程の一部変更について 10. 「障がい者生活介護センターかがやき」運営規程の制定について 11. 「障がい者生活介護センターきらり」運営規程の一部変更について 12. 「障がい児童デイサービスセンターくれよん 2」運営規程の制定について 13. 就労継続支援 B 型事業所運営規程の一部変更について 14. 平成 29 年度事業計画について 15. 平成 29 年度資金収支予算について		
--	---	--	--

〈2〉監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第 1 回] 5 月 19 日	平成 27 年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成 27 年度事業実施報告書 ②平成 27 年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第 2 回] 11 月 22 日	平成 28 年度中間監査（下記書類を中心に監査） ①平成 28 年度事業実施中間報告書 ②平成 28 年度資金収支計算書	監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき

〈3〉評議員会

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第 1 回] 5 月 31 日	1. 定款の一部変更について 2. 平成 27 年度事業実施報告について 3. 平成 27 年度社会福祉事業会計収入支出決算について	評議員 22 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第 2 回] 6 月 29 日	1. 役員の選任について	評議員 18 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第 3 回] 10 月 26 日	1. 役員（補欠）の選任について 2. 定款の全部改正について（社会福祉法人改革関連） 3. 従たる事務所の廃止について	評議員 17 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第 4 回] 12 月 16 日	1. 定款の一部変更について 2. 平成 28 年度資金収支第 1 回補正予算について 3. 役員（補欠）の選任について	評議員 16 名 監事 2 名	磯部健康福祉センターかがやき
[第 5 回] 3 月 30 日	1. 平成 28 年度資金収支第 2 回補正予算について 2. 平成 29 年度事業計画について 3. 平成 29 年度資金収支予算について	評議員 14 名	磯部健康福祉センターかがやき

〈4〉理事懇談会

期日	協議事項	出席者	開催場所
[第 1 回] 4 月 21 日	1. 理事・評議員改選にともなう定数変更及び機能強化の提案 2. 的矢小学校の利活用にともなう社協の方向性について 3. 水産と福祉の連携事業による水産法人の設立について	理事 14 名 監事 1 名	磯部健康福祉センターかがやき

〔第2回〕 6月21日	1. 的矢小学校施設有効活用プロポーザルの募集について 2. 新役員候補者の推薦状況について 3. 社会福祉法の改正による留意点について 4. 理事懇談会の取り扱いについて	理事9名 監事1名	磯部健康福祉センターかがやき
----------------	---	--------------	----------------

（2）財政基盤の強化

本会の経営基盤の確立と事業の充実を図るため、自治会や関係団体の協力を得て会員加入に向けた取り組みを行いました。

〈1〉一般会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町
納入件数	1,307 件	1,622 件	2,324 件	3,292 件	2,230 件
納入金額	653,500 円	802,391 円	1,168,655 円	1,594,832 円	1,114,800 円
納入件数合計	10,775 件〔前年比+558 件〕		納入金額合計	5,334,178 円〔前年比+292,985 円〕	

〈2〉賛助会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外
納入件数	33 件	21 件	14 件	67 件	33 件	7 件
納入金額	102,000 円	68,000 円	92,000 円	209,000 円	99,000 円	24,000 円
納入件数合計	175 件〔前年比 +20 件〕		納入金額合計	594,000 円〔前年比 +72,000 円〕		

〈3〉特別会費の状況

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
納入件数	17 件	39 件	22 件	100 件
納入金額	135,000 円	200,000 円	210,000 円	620,000 円
	磯部町	市外		合計
納入件数	49 件	6 件		233 件
納入金額	415,000 円	40,000 円		1,620,000 円

〔前年比：-9 件／-43,000 円〕

〈4〉会費の推移

〔単位：円〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般会費	5,661,558	5,335,202	5,214,552	5,041,193	5,334,178
賛助会費	659,000	631,850	531,000	522,000	594,000
特別会費	1,763,000	1,750,000	1,680,000	1,663,000	1,620,000
合計	8,083,558	7,717,052	7,425,552	7,226,193	7,548,178

〈5〉寄附金の状況

〔単位：円〕

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町
寄附件数	9 件	9 件	1 件	25 件
寄附金額	341,875 円	171,000 円	20,000 円	1,933,321 円
	磯部町			合計
寄附件数	12 件			56 件
寄附金額	373,888 円			2,840,084 円

〔前年比：-4 件／-9,718,754 円〕

〈6〉年度別寄附金額

〔単位：円〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
寄附金	3, 618, 158	3, 980, 459	2, 758, 796	12, 558, 838	2, 840, 084

(3) 組織の活性化

昨年度、試行的に実施した人事考課制度を基に新たな人事評価の仕組みを設計し、次年度の導入に向け試験的に実施しました。また、職員の資質向上を図るため研修会や講習へ参加させ、専門的な知識や技術の維持向上に努めました。(主な研修会を記載)

〈1〉人事考課制度

月	内容など
4~8	人事評価マニュアル、人事評価表の作成など
10	正職員を対象として勤務評定報告書の作成を依頼し、その後、各課長において面談を実施しました。(業務目標の設定)
10	人事評価研修 講師：(株) 話し方教育センター
12	勤務評定報告書にて設定した目標に対する自己評価を行いました。
2	各課長において面談を実施し1次評価を行ないました。

〈2〉職員研修

【総務課】

月	研修名など
7	会計担当者養成集中講座
8	社会福祉法人役員及び幹部職員研修会
2	退職手当制度事務研修会、
3	障がい者雇用納付金制度事務説明会

【地域支援課】

月	研修名など
12	地域を基盤とする支援活動の進め方～コミュニティソーシャルワークを学ぶ～
1	地域を基盤とする支援活動の進め方～コミュニティソーシャルワークを学ぶ～
2	地域を基盤とする支援活動の進め方」～コミュニティソーシャルワークを学ぶ～
3	平成 28 年度生活福祉資金貸付事業担当者研修会

【居宅介護支援課】

月	研修名など
4	平成 28 年度認定調査員新規研修会、県立志摩病院多職種研修「呼吸器障害に対するリハビリテーションについて」
5	県立志摩病院多職種研修「骨折後のリハビリテーションについて」、指定介護予防支援業務の一部委託受託意向事業者を対象とした説明会、主任介護支援専門員更新研修 県立志摩病院多職種研修「高血圧について学ぼう!」、志摩市介護サービス事業所連絡会総会
6	水福連携現地研修会、主任介護支援専門員更新研修、計画相談研修会、県立志摩病院多

	職種研修「高齢者に多い整形外科の外傷について」、介護保険事業所&県立志摩病院連絡会～介護と医療の垣根について～、アローチャート研修会、三重県介護支援専門員協会第2回研修会「リハビリ用語の基礎知識～情報共有・多職種連携のために～」、県立志摩病院多職種研修「初期認知症の識別と診断・治療について」、県立志摩病院「第2回志摩地域まるごとケア交流会」、三重県介護支援専門員協会南勢志摩支部総会・講演会「ケアマネジャーのリスクマネジメント」、県立志摩病院多職種研修「終わりよければすべてよし～終末期を考える」、県立志摩病院多職種研修「嚥下に対するリハビリテーションについて」、福祉用具セミナー、県立志摩病院住民学習会（終末期を考える）、介護サービス事業者集団指導、志摩市相談事業所会議
7	主任介護支援専門員更新研修、県立志摩病院多職種研修「目の加齢性変化と身体障害・視覚障害の認定の原因となる主な病気について」、三重県相談支援従事者初任者研修、市第1回ケアマネジャー研修会「課題整理総括表の理解と活用方法について」、県立志摩病院多職種研修「循環器疾患に関する診断や治療について」、志摩市民病院「なう」！「志摩市民病院の医療・地域連携体制について」、保健センター「今夜はぐっすり眠れそう…～自分でできる☆眠り&リラックスセミナー～」、志摩市介護サービス事業者連絡会前期研修会「総合事業の勉強会」、福祉用具セミナー・特別支援教育カンファレンス
8	主任介護支援専門員更新研修、介護保険事業所&県立志摩病院連絡会、市「社会的活動としての話すこと・聴くこと」、福祉用具セミナー、第23回あすなろ学園シンポジウム
9	主任介護支援専門員更新研修、三重県介護支援専門員研修課程Ⅱ、市「認知症の早期発見と予防」、自殺予防対策事業ゲートキーパー研修、福祉用具セミナー、圏域相談部会（事例検討の持ち方）
10	三重県相談支援従事者現任研修、県立志摩病院「知って得する検診や健診のおはなし」市「新しい介護予防・日常生活支援総合事業に伴うケアプラン説明会」、県立志摩病院「第3回志摩地域まるごとケア交流会」、こだま「計画相談研修会」、市第2回ケアマネジャー研修会「ターミナルケアについての知識と理解を深めよう」、第1回精神保健福祉連絡会（チームとばしま）「精神症状への理解と対応について」、県こころの健康センター「相談窓口対応力向上研修会」、食と健康フォーラム「いつまでも美味しく食べたい」、県介護支援専門員協会南志支部第2回研修会
11	第3回介護保険事業所&県立志摩病院連絡会、県立志摩病院「在宅療養の強い味方！薬剤師さんと交流しよう①」、志摩市介護サービス事業所連絡会「介護サービス事業者における福祉避難所の取り組みについて」、市「介護予防従事者研修会」、圏域相談部会「事例検討 小児在宅医療」、第2回精神保健福祉連絡会（チームとばしま）、県立志摩病院住民学習会「心臓の病気いろいろ」
12	平成28年度認定調査員現任研修会、県立志摩病院「音楽が高齢者にもたらす影響」、市「第2階志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議」、地域医療介護総合確保基金助成事業研修会
1	主任介護支援専門員研修、県立志摩病院「在宅療養の強い味方！薬剤師さんと交流しよう②」、生活困窮者自立支援事業啓発講演会「藤田孝典さん講演会」、こだま「志摩市相談事業所会議」、県立志摩病院「高齢者の運転、認知症の人の運転について」、三重県相

	談支援従事者等専門コース別研修、就労支援研修会、市第4回介護保険事業所&県立志摩病院連絡会、圏域相談部会「事例検討 児童発達」
2	市「介護職員のメンタルヘルス対策（セルフケア）」、県立志摩病院「在宅療養の強い味方！薬剤師さんと交流しよう③」、市「第3回ケアマネジャー研修会（自立支援を目指したりハビリテーション及び福祉用具の活用）」、市「自立支援型地域ケア会議講演会」市「新しい介護予防・日常生活支援総合事業実施に伴うケアマネジャー研修会について」県立志摩病院「呼吸器疾患に関する知識を持とう」「第4回志摩地域まるごとケア交流会」、県立志摩病院住民学習会「高齢者に多い骨折」、県立志摩病院多職種研修会「呼吸器疾患」、介護総合相談支援課研修（地域包括ケア時代）、市養介護施設従事者等向け虐待防止に関する研修会、伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会研修会、市虐待防止研修会
3	県立志摩病院「食べられなくなった時の経管栄養について」、介護支援専門員協会「スタートする（総合支援事業）を考える」、市「高齢者の口腔ケアについて～必要なケアってどんなケア？～」第2回志摩市歯と口の健康づくり推進ネットワーク会議、第5回介護保険事業所&県立志摩病院連絡会「緩和ケア治療について」、市「住み慣れた地域で自分らしく生きるとは～訪問看護師からのメッセージ～」、松阪厚生病院「アルツハイマー病と認知症」、志摩市介護サービス事業所連絡会「保険者との意見交換会」、成年後見制度に関する研修会、障がい者差別解消法講演会、三重県介護支援専門員協会第11回研修会、圏域相談部会（事例検討 就労系）

【訪問サービス課】

月	研修名など
4	三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会
5	介護保険事業者指定更新説明会及び管理者研修（訪問介護、訪問入浴、訪問看護、福祉用具貸与）
6	平成28年度三重県精神科訪問看護研修、福祉用具専門相談員研修、平成28年度介護保険サービス事業者等集団指導（訪問介護、訪問入浴、訪問看護）、指定更新手続説明会及び管理者研修
7	平成28年度三重県精神科訪問看護研修、三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会、訪問入浴レベルアップ研修会（①災害時における準備、心構え②ヒヤリハットの検証とリスク回避等）、福祉用具専門相談員研修、平成28年度障害福祉サービス事業者等集団指導（障害居宅）、新しい総合事業における訪問型サービスの内容と事業に向けての流れについて、安全運転管理者講習会
8	三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会
9	三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会
10	三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会
11	志摩市介護サービス事業所連絡会「介護サービス事業者における福祉避難所の取り組みについて」
1	多職種連携・認知症ケア
2	三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会、志摩市虐待防止ネットワーク研修

	会「虐待とその対応について」
3	プライマリエキスパートナーズ研修会、精神疾患患者の地域定着支援のための研修会、三重県訪問看護ステーション連絡協議会地区委員会
毎月	ヘルパーミーティングにて勉強会 感染症、認知症、食中毒予防、介護保険制度、虐待とは、接遇等

【通所介護課】

月	研修名など
4	市町社会福祉協議会職員新任職員研修会
5	三重県デイサービスセンター協議会総会&研修会、志摩市介護サービス事業所連絡会総会、主任介護支援専門員更新研修
6	指定更新手続説明会及び管理者研修、介護保険サービス事業者集団指導、県立志摩病院多職種研修「高齢者に多い整形外科の外傷について」、三重県デイサービスセンター協議会伊勢志摩ブロック研修会、県立志摩病院多職種研修「初期認知症の鑑別と診断・治療について」、福祉レクリエーションセミナー、主任介護支援専門員更新研修
7	市「新しい介護予防・日常生活支援総合事業に伴うサービス事業向け説明会」、主任介護支援専門員更新研修、三重県デイサービスセンター協議会研修会、安全運転管理者講習会、食品衛生講習
8	主任介護支援専門員更新研修
9	三重県デイサービスセンター協議会伊勢志摩ブロック研修会、主任介護支援専門員更新研修
10	三重県相談支援従事者現任研修
11	志摩市介護サービス事業所連絡会「介護サービス事業者における福祉避難所の取り組みについて」
2	志摩市虐待防止ネットワーク研修会、自立支援型地域ケア会議講演会
3	市町社会福祉協議会職員新任職員研修会フォローアップ研修、志摩市介護サービス事業所連絡会「保険者との意見交換会」、三重県デイサービスセンター協議会第4回研修会

【障がい福祉課】

月	研修名など
4	志摩市地域自立支援協議会定例会
5	志摩市地域自立支援協議会定例会、第1回障がい者地域ケア会議
6	三重県立度会特別支援学校見学会、第三次産業における労務・安全等管理研修会 志摩市地域自立支援協議会定例会、南勢地区障がい福祉サービス事業所連絡協議会総会
7	障害福祉サービス事業者等集団指導、三重県相談支援従事者初任者研修、基本的な感染管理、志摩市地域自立支援協議会定例会、第2回障がい者地域ケア会議
8	平成28年度就労支援基礎研修、社会的活動としての話すこと・聴くこと、相談支援従事者研修、志摩市地域自立支援協議会定例会
9	伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会就労支援部会、虐待防止ネットワーク意見交換会

	三重県相談支援従事者現任研修
10	志摩市地域自立支援協議会定例会 度会特別支援学校公開授業 28年度三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修 水福連携先進地事例調査 28年度三重県発達障がい理解促進事業研修
11	志摩市地域自立支援協議会定例会 第4回障がい者地域ケア会議 三重県サービス管理責任者研修（介護） 国体クッキー担当者会議（コンサル事業）
12	志摩市地域自立支援協議会定例会 伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会就労支援部会（企業で働くということ。障がい者の働くを保障する研修会） 三重県サービス管理責任者研修（就労）28年度三重県障がい者虐待防止・権利擁護研修 福祉・教育・医療から雇用への移行推進業務連携会議
1	志摩市地域自立支援協議会定例会 第5回障がい者地域ケア会議
2	志摩市地域自立支援協議会定例会 障がい者の性と生の支援研修会 工賃向上対策セミナー 三重県強度行動障がい支援者養成研修 虐待防止研修会 28年度三重県青年・女性漁業者交流会
3	志摩市地域自立支援協議会定例会 伊勢志摩圏域自立支援連絡協議会就労支援部会 精神障害者の就労支援セミナー、三重県における農林水産業の連携推進研修 第6回障がい者地域ケア会議

2. 福祉拠点の充実

（1）志摩市地域福祉センターの運営

志摩市から指定され地域福祉センターの管理を行うとともに、地域福祉センターにおいて福祉を目的とする住民の交流及び活動の場を提供し、地域における住民の自主的な福祉活動を支援しました。（志摩市及び本会主催の会議等を含む）

指定管理施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計	
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	
大王地域福祉センター	件数	5件	5件	6件	3件	1件	6件	26件	
	利用者数	47名	51名	61名	41名	11名	67名	278名	
阿児地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	
磯部地域福祉センター	件数	35件	37件	31件	22件	30件	37件	192件	
	利用者数	430名	388名	396名	244名	260名	700名	2,418名	
指定管理施設名	区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計	合計
浜島地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大王地域福祉センター	件数	8件	5件	7件	4件	6件	8件	38件	64件
	利用者数	87名	57名	76名	42名	68名	81名	411名	689名
阿児地域福祉センター	—	—	—	—	—	—	—	—	—
磯部地域福祉センター	件数	30件	32件	40件	30件	27件	30件	189件	354件
	利用者数	426名	384名	445名	348名	311名	299名	2,213名	4,631名

3. 福祉活動の啓発

(1) 広報活動の推進

広報誌やホームページを活用して本会の役割や活動などの情報提供・発信に努めました。

- 〈1〉志摩市社会福祉協議会ホームページの運営 [[http:// www.shima-fukushikyo.or.jp](http://www.shima-fukushikyo.or.jp)]
ホームページの魅力をアップさせ、身近なものとしていただけるよう、全面的な更新に取り組みました。

内容 / 事業紹介、各種情報提供、ブログ（支所活動・市民活動）、その他

- 〈2〉広報誌「志摩市社協だより」の発行

発行回数 / 計6回発行（奇数月の1日発行）

A4版2色刷り（4ページ）／約17,300部発行（1回あたり）

4. 事業評価と今後の課題〔法人運営事業〕

本年度は社会福祉法人改革関連の法改正（平成29年4月施行）が行われたことに伴い、改正の趣旨を満たす定款や関連する規程の整備を行ない、これに基づき新評議員等を選任いたしました。

機構改革により取り組んだ総務機能の集約化については、試行錯誤しながら効率的、効果的な運用を模索した結果、労務管理、金銭管理などに一定の道筋はつきましたが、満足できる状況にはないと判断しています。今後も、運用の見直しを進め、適正な総務機能が発揮できるよう改善を進めてまいります。

また、経営状況については収入面において、報酬等の引き下げや利用者の減少により介護保険事業収益、障がい福祉サービス等事業収益は減収傾向にありますが、ここ3年ほどの間に正職員が20名退職したことで人件費が抑制され、前年の当期活動増減差額と比較すると約35,000千円増益となりました。これにより、カットしていた賞与も一部是正することができ、減収傾向となっていた職員のモチベーションの回復を図ることができました。今後も法人として安定した経営を維持していくために、社会福祉法人としての役割を押さえながら本会の将来設計を検討していく必要があると思います。

II. 地域福祉活動推進事業

1. ボランティアセンター事業

(1) ボランティア活動の相談支援

〈1〉相談支援実績

ボランティア・市民活動の相談窓口となり、ボランティア・市民活動に関する相談援助、コーディネート業務（調整）、情報提供、登録事務、活動費の助成などの業務を全般的に行ないました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計
相談・助言	19件	11件	15件	44件	33件	15件	137件
登録団体数	8団体	8団体	8団体	15団体	17団体	0団体	56団体
登録団体会員数	115名	459名	223名	280名	389名	0名	1,466名
個人登録者数	6名	1名	21名	20名	24名	2名	74名
活動費の助成 (1団体/上限10,000円)	60,000円	50,000円	76,000円	93,000円	160,000円	0円	439,000円

〈２〉地域福祉を推進する団体への事業費の助成〔一般募金・歳末たすけあい募金配分金を使用〕

地域において生活支援を求めている人が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民による先駆的な福祉活動やまちづくり活動の推進を図るために、創意工夫をこらして主体的にすすめる事業に対し、共同募金を財源として事業費を助成しました。

《助成団体》

助成総額 2,147,000 円 /		助成団体数 24 団体	
団体名	助成額	団体名	助成額
阿児町心身障害児者育成会	100,000 円	大王地区夢まちづくり委員会	92,000 円
アリス	100,000 円	特定非営利活動法人TEAM笑美S	76,000 円
磯部楽打天晴倶楽部	100,000 円	なでしこ会	64,000 円
NPO 法人気づきネットワーク	75,000 円	のぞみ会「食育サークル元気ッズ」	35,000 円
しま子育て応援団	100,000 円	みえ防災コーディネーター志摩の会	100,000 円
志摩町荒波太鼓保存会	100,000 円	鳥羽志摩地域家族会みしま会	100,000 円
志摩人形クラブ	80,000 円	えがお志摩保育園	77,000 円
志摩の文化を豊かにする会	75,000 円	特定非営利活動法人夢ひこーき	92,000 円
志摩夢まちサポーターズ	100,000 円	UD 志摩	87,000 円
手話サークルあいの会	94,000 円	自治会連合会（5 地区）	500,000 円

〈３〉音声情報提供事業

朗読ボランティアグループ（やまびこ：浜島、夕風：大王、浜風：阿児、さくらんぼ：磯部）の協力を得て、視覚障がい有する方に、志摩市が発行する「広報しま」、「議会だより」及び志摩市社会福祉協議会が発行する「社協だより」などを音訳し配布しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
実利用者数	0 名	0 名	2 名	9 名	9 名	20 名

〈４〉地区夢まちづくり委員会

①地区夢まちづくり委員会

大王地区及び志摩地区には、地域福祉計画の策定をきっかけに組織された夢まちづくり委員会が住民主体の活動を行っており、その取り組みを支援しました。

②地区夢まちづくり委員会の活動支援

地区	期日	内容及び参加者数
大王	9 月 3 日	きれいにしよーな大作戦 参加者数： 65 名
	10 月 18 日	歩こう会 参加者数： 32 名
	12 月 6 日	お楽しみ会 参加者数： 103 名
	3 月 28 日	お楽しみ会 参加者数： 93 名
志摩	6 月 19 日	第 1 回志摩町海岸クリーン大作戦 参加者数： 133 名

	10月16日	第2回志摩町海岸クリーン大作戦	参加者数：120名
--	--------	-----------------	-----------

2. 福祉教育支援事業

(1) 福祉協力校の指定〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕

学童・生徒の頃から幼少者・高齢者・障がい者等との交流体験などを通じて、子どもたちがさまざまな人々を自然に受け入れ、福祉への関心を育むことを目的に市内の学校を福祉協力校として指定し、福祉学習を推進する事業費を助成しました。

〈1〉福祉協力校の指定

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
30,000円	1校	1校	4校	6校	2校	14校
40,000円	0校	0校	0校	1校	0校	1校
60,000円	1校	1校	0校	3校	1校	6校
合 計	90,000円	90,000円	120,000円	400,000円	120,000円	820,000円

〈2〉福祉学習

子どもたちに福祉への関心を呼び覚まし、その実践を通じて、福祉のまちづくりを支える基盤となる社会連帯の精神を育むことを目的に市内の学校と連携して福祉学習を実施しました。

地区	期日	内容	会場	参加者
浜島	2月21日	デイサービス交流会	さくら苑	浜島小学校4年生 児童22名 デイ利用者23名
大王	7月25日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	波切小学校 児童7名 ボランティア14名 あいのその利用者3名
	7月27日 7月28日 7月29日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	ゆうゆう苑	大王中学校 生徒12名
	3月13日	アイマスク体験	波切小学校	波切小学校4年生 児童34名
	6月30日	視覚障害者との交流	布施田小学校	布施田小学校 全児童39名
志摩	7月25日	夏休み福祉体験教室 「ともやま交流会」	ともやま公園	和具小学校 児童13名 ボランティア1名 あいのその利用者3名
	6月23日	車いす体験教室	鵜方小学校	鵜方小学校4年生 児童85名、教諭3名
	7月26日 8月16日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」	サンラフ阿児	町内中学校 生徒4名

阿児	10月11日	アイマスク体験	鵜方小学校	鵜方小学校4年生 児童86名
	10月13日	疑似体験教室	甲賀小学校	甲賀小学校5年生 児童17名
	10月25日	目の不自由な方々との交流会 2016	鵜方小学校	鵜方小学校4年生 児童86名
	12月1日	点字の勉強について	神明小学校	神明小学校4年生 児童32名
	12月1日	視覚障がい者の日常生活について	国府小学校	国府小学校4年生 児童7名
	2月24日	阿児デイとの交流	鵜方小学校	鵜方小学校4年生
	2月27日	阿児デイとの交流	鵜方小学校	鵜方小学校4年生
	2月28日	阿児デイとの交流	鵜方小学校	鵜方小学校4年生
	3月7日	車椅子体験	甲賀小学校	甲賀小学校3年生 児童31名
磯部	8月1日	サロンとの交流 (見守り事業配布品創作活動)	かがやき	磯部中学校 生徒9名 サロン6名
	8月3日 8月4日	夏休み福祉体験教室 「デイサービスボランティア体験」		磯部中学校 生徒5名

〈3〉介護人材の育成支援

次の世代を担う介護・福祉の人材を育成するため高等学校、大学、事業所などの機関より実習希望者を受け入れました。

	人数	備考
社会福祉士相談援助実習	1名	社会福祉士受験資格取得に係る実習（180時間以上）
介護等体験実習	2名	小、中学校教員免許資格取得に係る実習（40時間）
福祉・介護の職場体験実習	7名	福祉・介護職場に関心がある方の実習
その他	4名	ワンステップ研修（志摩市役所）
合 計	14名	

3. 小地域福祉活動

（1）ふくし懇談会の開催支援

※第3次地域福祉（活動）計画の座談会を福祉懇談会と位置づけました。

（2）小地域支え合いネットワーク

各地区の小地域ネットワークの活動について、情報共有を行いました。

（3）民生委員児童委員協議会

地区民生委員児童委員協議会の事務局として民生委員児童委員との連携を一層強化し、小地

域での福祉活動を推進しました。

協議会名	委員数	定例会	役員会	専門部会
浜島地区民生委員児童委員協議会	17 名	6 回	0 回	0 回
大王地区民生委員児童委員協議会	17 名	6 回	0 回	5 回
志摩地区民生委員児童委員協議会	21 名	6 回	6 回	10 回
阿児地区民生委員児童委員協議会	41 名	6 回	6 回	2 回
磯部地区民生委員児童委員協議会	21 名	7 回	6 回	10 回

(4) 福祉委員会

地域において福祉に関する課題や要望を把握し、助け合い活動を展開して地域の人たちがともに「福祉でまちづくり」をすすめていく「推進役」である福祉委員会の活動を支援しました。

地区	委員会名	委員数	主な活動内容	助成額
浜島	桧山路地区福祉委員会	8 名	サロン活動、朝市の実施など	65,000 円
	塩屋地区福祉委員会	12 名	サロン活動、会食会の実施など	65,000 円
	迫子地区福祉委員会	14 名	サロンの実施、見守り活動など	65,000 円
大王	船越地区福祉委員会	5 名	訪問活動、炊き出し体験など	40,000 円
阿児	鵜方地区福祉委員会	12 名	見守り活動、地域ボランティアへの協力	65,000 円
	神明地区福祉委員会	17 名	見守り活動、ふれあい交流会など	65,000 円
	立神地区福祉委員会	16 名	見守り活動、資源回収など	65,000 円
	志島地区福祉委員会	11 名	見守り活動、炊き出しなど	65,000 円
	甲賀地区福祉委員会	6 名	見守り活動、サロンの実施など	65,000 円
合計				560,000 円

(5) 見守り支援員

磯部町内の自治会に対し、見守り支援員を依頼し、安否確認活動を推進しました。

地区	内容
磯部	磯部町内の 21 地区の各自治会に 146 名の見守り支援員をお願いして、見守りが必要な方に日頃の自治会活動を通じて安否確認などの支援活動を行ないました。

(6) 地域見守り事業〔歳末たすけあい募金配分金を使用〕

訪問活動やふれあい弁当の配食サービスなどを通じて、地域での支えあい活動や交流、見守り活動の促進に努めました。

◇ 定期訪問等（ふれあい弁当の配食・安否確認）						
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
延べ実施回数	19 回	18 回	16 回	19 回	19 回	91 回
延べ利用者数	820 名	241 名	1,115 名	520 名	1,233 名	3,929 名
◇ 会食サービス（相互交流・親睦）						
	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
延べ実施回数	1 回	0 回	1 回	0 回	1 回	3 回

延べ参加者数	10 名	0 名	6 名	0 名	18 名	34 名
--------	------	-----	-----	-----	------	------

地区	実施月	内容	延べ利用者数
浜島	7・8 月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行いました。 実施回数／2 回	89 名
大王	6～8 月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行いました。 実施回数／6 回	83 名
志摩	6～9 月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品を配布し、安否確認を行いました。 実施回数／8 回	574 名
阿児	7・8 月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、福祉委員会や小中学生が、日用品や花、飲み物等を配布し安否確認を行いました。 実施回数／各地区 2～4 回	100 名
磯部	7・8 月	ふれあい弁当の配食を実施しない月に、日用品や磯部中学校の生徒の手作り作品をボランティアが配布し、安否確認を行いました。 実施回数／2 回	122 名

(7) 地域ふれあいサロン支援事業〔一般募金配分金を使用〕

地域で孤立することなく安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民が主体となって取り組む交流拠点づくりを支援しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
実施箇所数	7 箇所	3 箇所	9 箇所	10 箇所	18 箇所	47 箇所
延実施回数	96 回	82 回	220 回	169 回	151 回	718 回
延利用者数	1,918 名	1,030 名	2,480 名	4,334 名	4,193 名	13,955 名
助成件数	7 件	3 件	9 件	10 件	18 件	47 件
助成額	203,000 円	86,000 円	208,000 円	288,000 円	494,000 円	1,279,000 円

(8) 防災関連事業

〈1〉志摩町地域防災対策に向けた協力支援

自治会をはじめ、民生委員、消防署、消防団、小学校、中学校、幼稚園、介護サービス事業者など地域の関係機関がそれぞれの立場から防災に関連した取組みの現状や活動について、連携・共有を図るためのネットワーク会議へ協力しました。

期日	内容	会場	参加者
7 月 22 日	第 1 回和具防災ネットワーク会議	社協志摩事務所	14 名
1 月 27 日	第 2 回和具防災ネットワーク会議	社協志摩事務所	9 名

〈2〉子ども向け防災講座「地震から子どもをまもりたい！！」の開催

志摩市や関係機関と連携して、防災意識の向上を目的とした事業に取り組みました。

期日	内容	会場	参加者
8 月 23 日	地震から子どもをまもりたい！！	磯部健康福祉センターかがやき	12 名

(9) 志摩市地域福祉フェスタ

第 2 次志摩市地域福祉（活動）計画に掲げた地域福祉活動を推進するための啓発事業を志摩市、市民と協働して開催するための準備をすすめました。

期日	内容	会場	参加者
8月2日	地域福祉フェスタ事務局会議	磯部健康福祉センターかがやき	4名
8月30日	第1回地域福祉フェスタ実行委員会	磯部健康福祉センターかがやき	18名
9月5日	ワーキング会議（ホール・福祉イベント班）	磯部健康福祉センターかがやき	10名
9月8日	ワーキング会議（おもてなしステージ班）	磯部生涯学習センター	7名
9月21日	ワーキング会議（おもてなしステージ班）	磯部生涯学習センター	7名
9月30日	ワーキング会議（ホール・福祉イベント班）	磯部健康福祉センターかがやき	11名
10月21日	第2回地域福祉フェスタ実行委員会	磯部生涯学習センター	16名
11月4日	地域福祉フェスタ出店（展）者説明会	磯部健康福祉センターかがやき	12名
11月14日	第3回地域福祉フェスタ実行委員会	磯部健康福祉センターかがやき	16名
11月20日	地域福祉フェスタ2016 in 磯部町	磯部生涯学習センター	
2月2日	第4回地域福祉フェスタ実行委員会	磯部健康福祉センターかがやき	16名

（10）地域福祉（活動）計画の策定

第3次地域福祉（活動）計画の策定に伴い、行政と市民の参画とともに地域に求められるまちづくりを推進していくための事務局会議やワーキング会議、福祉まちづくり会議と住民座談会の実施などにより時代と地域に合った計画づくりに取り組んでおります。

〈1〉地域福祉計画策定事務局会議

期日	内容	会場	参加者
4月5日	第1回事務局会議	志摩市役所	2名
4月13日	第2回事務局会議	志摩市役所	2名
4月22日	第3回事務局会議	志摩市役所	2名
4月28日	第4回事務局会議	志摩市役所	2名
5月13日	第5回事務局会議	志摩市役所	2名
5月27日	第6回事務局会議	志摩市役所	2名
6月13日	第7回事務局会議	志摩市役所	2名
6月27日	第8回事務局会議	志摩市役所	2名
7月4日	第9回事務局会議	志摩市役所	2名
7月12日	第10回事務局会議	志摩市役所	2名
7月20日	第11回事務局会議	志摩市役所	2名
8月3日	第12回事務局会議	志摩市役所	2名
8月19日	第13回事務局会議	志摩市役所	2名
9月27日	第14回事務局会議	志摩市役所	2名

〈2〉ワーキング会議

期日	内容	会場	参加者
9月8日	地域福祉計画策定ワーキング会議	志摩市役所	14名

〈3〉福祉まちづくり会議

期日	内容	会場	参加者
8月24日	第1回身近な社会参加部会	志摩市役所	3名
8月25日	第1回身近な相談体制部会	志摩市役所	1名

9月9日	第2回身近な社会参加部会	志摩市役所	3名
9月12日	第2回身近な相談体制部会	志摩市役所	1名

〈4〉策定検討会議

期日	内容	会場	参加者
9月30日	第1回地域福祉活動検討会議	志摩市役所	7名
12月8日	計画策定に係る施策形成の検討会議	磯部健康福祉センターかがやき	5名
1月23日	計画策定に係る施策形成の検討会議	磯部健康福祉センターかがやき	3名
1月26日	計画策定に係る施策形成の検討会議	磯部健康福祉センターかがやき	4名

〈5〉策定委員会

期日	内容	会場	参加者
7月29日	第1回地域福祉計画策定委員会	志摩市役所	4名
10月17日	第2回地域福祉計画策定委員会	志摩市役所	4名
1月30日	第3回地域福祉計画策定委員会	志摩市役所	4名
3月16日	第4回地域福祉計画策定委員会	サンライフあご	4名

〈6〉住民座談会の実施

第3次地域福祉（活動）計画策定への、市内34地区を対象とした住民座談会を実施しました。

期日	会場	スタッフ	参加者
9月15日	迫子公民館（浜島）	3名	23名
9月16日	南張生涯学習センター（浜島）	3名	16名
9月21日	立神ふれあいセンター	3名	14名
9月23日	的矢区民センター	3名	12名
9月26日	布施田コミュニティセンター	3名	12名
9月27日	志摩文化会館	3名	15名
9月28日	磯部生涯学習センター（下之郷、飯浜）	3名	5名
9月30日	御座コミュニティセンター	3名	14名
10月3日	穴川公民館	3名	16名
10月4日	桧山路生涯学習センター	3名	7名
10月5日	志島公民館	3名	12名
10月6日	甲賀公民館	3名	12名
10月7日	渡鹿野開発総合センター	3名	14名
10月11日	名田公民館	3名	12名
10月12日	鵜方公民館	3名	18名
10月13日	片田共同福祉施設	3名	10名
10月14日	安乗公民館	3名	23名
10月17日	国府公民館	3名	6名
10月18日	三ヶ所区民センター	3名	11名

10月25日	浜島生涯学習センター	3名	11名
10月26日	坂崎区民センター	3名	12名
10月27日	磯部生涯学習センター（迫間、川辺、梶坊）	3名	20名
10月28日	畔名コミュニティセンター	3名	10名
11月4日	塩屋生涯学習センター	3名	13名
11月7日	間崎開発総合センター	3名	15名
11月8日	迫間文化会館	3名	8名
11月9日	神明公民館	3名	13名
11月10日	夏草公民館（山原、夏草、栗木広、堀切、桧山）	3名	13名
11月11日	船越公民館	3名	9名
11月14日	越賀多目的集会施設	3名	7名
11月16日	磯部生涯学習センター（山田、上之郷、上之郷住宅）	3名	17名
11月17日	磯部生涯学習センター（築地、銀河の里、五知、沓掛）	3名	16名
11月22日	大王公民館	3名	12名
11月24日	磯部生涯学習センター（恵利原、恵ヶ丘、雇用促進住宅）	3名	8名

4. 受託事業

（1）地域生活拠点づくり事業〔志摩市より受託〕

平成27年度に引き続き、磯部町の矢地区と志摩町和具間崎島をモデル実施地区として、訪問による生活実態把握調査を進めながら、高齢化と人口減少や生活環境課題（買い物支援やサロン交流等）を検証し、地域住民と共に考え、地域福祉コーディネートによる地域の活性化策を見い出していくことを目的とした、地域の生活相談拠点づくりを進めました。

〈1〉 的矢地区

地区内において、高齢者等が各種イベントや交流機会の提供による地域の拠り所づくりを進めました。また並行して昨年度から引き続き実態把握調査活動を実施しました。

実施日	内容	会場	参加数
8月26日	流しそうめん交流会の開催	的矢区	21名
10月19日	的矢地区敬老会参加	的矢区民センター	2名
10月21日	拠点演奏会の開催	老人憩いの家	25名
3月31日	映画上映会の実施	老人憩いの家	25名
平成28年5月 ～ 平成29年3月	実態把握調査の実施（随時） 毎週火曜日、金曜日に地区内各戸訪問 による実態把握調査活動を行いました。	対象：的矢区民宅	随時
9月～ 毎週金曜日	頭の体操教室 認知症予防や脳の活性化を目的とした 誰もが気軽に集えるサロンづくりを進 めました。	老人憩いの家	10名程度

〈2〉 間崎地区

生活支援拠点ショップでは、地域のみなさまの思いから「もやい」と命名して開設。地域の協力員がショップ運営と地域相談員を兼ね備え、地域のつなぎ役となり、社協コーディネ

ーターとの協働によるいきいきサロンの開催、生活物品の販売など状況に応じた連携と生活全般を支える活動を行いました。

期日	内容	場所（行き先）	参加数
4月26日	買い物支援活動	賢島～鶴方	15名
5月13日	環境美化交流活動（花植え、草刈り）	間崎ショップもやい	16名
5月24日	買い物支援活動	志摩町和具地内	17名
6月17日	買い物支援活動	賢島～鶴方	16名
7月13日	地区懇談会の実施 協議体として、地区の課題に対する解決方法の模索や活性化に通ずるための懇談検討会を実施しました。	間崎ショップもやい	12名
8月5日	買い物支援活動	賢島～鶴方	14名
8月26日	アイス＆ビンゴ交流会	間崎ショップもやい	17名
10月12日	リハビリお元気アドバイス	間崎ショップもやい	18名
10月24日	買い物支援活動	賢島～鶴方	15名
11月19日	リハビリお元気アドバイス	間崎ショップもやい	18名
11月17日	ないぜみかん狩りと買い物支援活動	阿児～南伊勢町	12名
1月24日	きんこ作り交流会	離島開発総合センター	14名
1月30日	買い物支援活動	志摩町和具地内	13名
3月23日	買い物支援活動	阿児～鶴方	17名
平成28年4月～ 平成29年3月	実態把握調査の実施	間崎地内	随時

（２）介護予防事業

〈１〉家族介護教室〔志摩市より受託〕

介護者等が介護に関する知識や技術を学び、交流する機会を提供して、身体的・精神的な負担の軽減を図り、在宅介護を支援することを目的に開催しました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
延べ実施回数	3回	3回	3回	3回	3回	15回
延べ参加者数	64名	54名	40名	77名	69名	304名

主な内容・・・高齢者が喜ぶスイーツの調理実習（９月）
 高齢者の住まいを知る施設見学（１１月～１２月）
 徘徊 ドキュメンタリー映画鑑賞会（２月）

〈２〉介護予防拠点施設（菜の花館）の運営〔志摩市より受託〕

① 生きがい活動支援通所事業

閉じこもりがちな特定高齢者等を対象に通所による生活指導や趣味活動の機会を提供しました。

②一般高齢者通所事業

一般高齢者が要介護状態とならないよう予防のための入浴、レクリエーションの機会を提供しました。

	①生きがい活動支援通所（月・水・金）	②一般高齢者通所（火・木）
延べ利用者数	1,189名〔前年比+86名〕	1,000名〔前年比-16名〕

（３）放課後児童クラブ事業〔志摩市より受託〕

志摩市が開設している「浜島放課後児童クラブ」「磯部放課後児童クラブ」を受託運営し、仕事やその他の理由などで昼間、保護者がいない小学校などに通う児童を対象に、授業終了後、遊びや集団生活の場を提供してその健全育成を図りました。

《月別延べ利用者数》

	浜島放課後児童クラブ	磯部放課後児童クラブ	合計
平成28年4月	90名	581名	671名
5月	78名	570名	648名
6月	97名	655名	752名
7月	157名	645名	802名
8月	197名	734名	931名
9月	83名	552名	635名
10月	98名	547名	645名
11月	112名	600名	712名
12月	108名	583名	691名
1月	95名	531名	626名
2月	106名	575名	681名
3月	125名	603名	728名
合計	1,346名	7,176名	8,522名
〔前年比〕	-608名	-73名	-681名

【年度別延べ利用者数推移】

〔単位：名〕

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
浜島児童クラブ	1,903	2,279	3,505	1,954	1,346
磯部児童クラブ	7,230	7,441	6,552	7,249	7,176
合計	9,133	9,720	10,057	9,203	8,522

５．福祉サービス利用援助事業

（１）在宅介護支援事業

地域で支援や見守りが必要な在宅の高齢者などを把握し、在宅介護に関する相談及び保健、福祉などのサービスが総合的に受けられるための支援を行いました。

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	市外	合計
相談・助言	46件	28件	113件	76件	107件	8件	378件
内訳							
介護	0件	1件	0件	0件	2件	2件	5件
生活・家族	11件	13件	28件	29件	34件	0件	115件
福祉サービス	31件	8件	64件	31件	46件	1件	181件
医療	1件	0件	0件	0件	1件	0件	2件
経済的問題	3件	6件	20件	14件	18件	4件	65件

権利擁護	0 件	0 件	1 件	2 件	6 件	1 件	10 件
実態把握調査	11 件	3 件	38 件	13 件	40 件		105 件
介護者の会支援	2 回	0 回	0 回	1 回	3 回		6 回
介護予防教室等	0 回	0 回	0 回	3 回	2 回		5 回
福祉機器貸与	6 件	16 件	22 件	36 件	22 件		102 件

(2) 障がい者相談支援事業

障がいのある人が地域で生活する上での困りごとについて相談に応じ、各種情報の提供や関係機関の紹介など必要な助言を行うとともに、必要に応じてサービスの利用計画を作成し福祉サービスの利用を支援しました。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
新規	1 件	0 件	2 件	0 件	3 件	1 件	
更新・変更	4 件	8 件	2 件	4 件	8 件	4 件	
モニタリング	9 件	15 件	17 件	13 件	7 件	14 件	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規	1 件	1 件	0 件	0 件	0 件	2 件	11 件
更新・変更	8 件	4 件	12 件	7 件	4 件	9 件	74 件
モニタリング	4 件	13 件	3 件	9 件	10 件	5 件	119 件

(3) 日常生活自立支援センター事業〔三重県社会福祉協議会より受託〕

日常生活自立支援事業を三重県社会福祉協議会から受託し、判断能力に不安のある高齢者、障がいのある人などに福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類などの預かりサービスを行い、できる限り地域で自立した生活が送れるよう支援しました。

〈1〉活動報告

		名称 / 志摩日常生活自立支援センター						合計
		浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	南伊勢町	
相談・助言		3 件	3 件	5 件	21 件	7 件	9 件	48 件
利用契約数		0 件	0 件	0 件	6 件	2 件	2 件	10 件
解約数		2 件	0 件	1 件	6 件	3 件	1 件	13 件
利用者数		10 名	13 名	6 名	32 名	9 名	11 名	81 名
区分	認知症	3 名	4 名	6 名	8 名	4 名	4 名	29 名
	知的障がい	5 名	4 名	0 名	10 名	3 名	4 名	26 名
	精神障がい	1 名	4 名	0 名	11 名	2 名	3 名	21 名
	その他	1 名	1 名	0 名	3 名	0 名	0 名	5 名
生活支援員数		5 名	1 名	3 名	10 名	3 名	5 名	27 名
生活支援員訪問回数		234 回	122 回	77 回	363 回	79 回	198 回	1,073 回
専門員対応生活支援訪問回数		26 回	122 回	13 回	98 回	71 回	38 回	368 回
その他		274 回	189 回	126 回	520 回	215 回	123 回	1,447 回
◆相談・助言 / 問い合わせ件数・初回相談件数								
◆その他 / 生活支援以外で対応した専門員の訪問回数及び電話相談件数								

(4) 成年後見制度（法人後見）

認知症、知的障がい、精神障がいなどの障がいにより、判断能力に不安のある人の自己選択や自己決定を支援するため、成年後見制度の利用を支援しました。また、法人後見への取り組みを整理しました。

	後見	保佐	補助	任意後見
年度当初既受任者数	11 名	2 名	0 名	0 名
年度内新規受任者数	1 名	0 名	0 名	0 名
年度内後見終了者数	2 名	0 名	0 名	0 名
年度末利用者数合計	10 名	2 名	0 名	0 名

(5) 生活困窮者自立支援事業

平成27年4月に施行された生活困窮者自立支援法に基づき、自立相談支援、就労準備支援、家計相談支援の3つの事業を志摩市から受託し、生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを目的に、生活困窮者の状況に応じた包括的かつ継続的な支援を行いました。

〈1〉 自立相談支援事業

複合的な課題を有する生活困窮世帯の自立生活に向け包括的・継続的な支援を行い、生活保護へ陥ることのないよう相談支援を実施しました。

この他、相談支援のネットワークによる活動として、ハローワーク伊勢との生活保護受給者等就労自立促進事業で行う巡回相談事業の活用。三重県社会福祉協議会が事務局を担うみえ福祉の「わ」創造事業にて緊急食糧提供事業等を活用しました。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	小計
新規相談受付件数	4 件	7 件	7 件	8 件	6 件	10 件	42 件
ハローワーク巡回 相談の利用	3 件	4 件	4 件	1 件	2 件	1 件	15 件
緊急食糧提供事業 の活用	0 件	4 件	1 件	4 件	4 件	5 件	18 件
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規相談受付件数	12 件	3 件	5 件	10 件	10 件	11 件	93 件
ハローワーク巡回 相談の利用	1 件	1 件	2 件	1 件	1 件	3 件	24 件
緊急食糧提供事業 の活用	2 件	1 件	2 件	5 件	4 件	11 件	43 件

〈2〉 就労準備（訓練）支援事業

直ちに一般就労への移行が困難な相談者に対し、その準備として生活リズムを整えるなど基礎的な力を身につけることを目的に、本会が中間的就労の訓練事業者として三重県より認定事業所の許可を得ました。

その訓練機会として、水産と福祉の連携事業の現場の他、高齢者の通所介護事業の現場でも受け入れを実施いただきました。

〈3〉 家計相談支援事業

家計相談に応じ家計表や家計計画の作成を行い、また緊急一時的な生計の支援のため生活福祉資金貸付事業（総合支援資金及び緊急小口資金）の利用に関する相談あっせんも行いました。

(6) 生活福祉資金貸付事業〔三重県社会福祉協議会より受託〕

生活福祉資金貸付事業を三重県社会福祉協議会から受託し、低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯に対して資金の貸付けと必要な援助指導を行い、経済的に安定した生活が送れるよう支援しました。

〈相談件数〉

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
相談・助言	4 件	8 件	11 件	10 件	15 件	48 件

〈貸付件数〉

	浜島町	大王町	志摩町	阿児町	磯部町	合計
年度当初既貸付件数	9 件	11 件	25 件	78 件	14 件	137 件
年度内新規貸付件数	1 件	0 件	2 件	0 件	4 件	7 件
年度内償還完了等件数	1 件	2 件	2 件	4 件	3 件	12 件
3 月末貸付件数	9 件	9 件	25 件	74 件	15 件	132 件

(7) 専門相談会

土地、相続、金銭貸借など民法上の相談窓口として、専門相談会を開催しました。

相談区分	法律相談 (弁護士)	登記・訴訟相談 (司法書士)
開催回数	12 回	12 回
相談件数	48 件	55 件

6. 赤い羽根共同募金運動の協力

社会福祉法人三重県共同募金会志摩市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金運動に協力し、地域福祉の財源確保に努めました。

(1) 運営委員会 計 5 回

期日	議決事項	出席者	開催場所
[第 1 回] 5 月 31 日	1. 平成 27 年度事業実施報告について 2. 平成 27 年度一般会計決算の承認について 3. 平成 27 年度 (28 年度充当) 共同募金配分計画変更について 4. 平成 28 年度 (29 年度充当) 共同募金配分計画について	運営委員 12 名 監事 2 名	磯部健康福祉センター
[第 2 回] 6 月 15 日	1. 運営委員 (補欠) の選任について	回答者 12 名	(書面運営委員会)
[第 3 回] 8 月 26 日	1. 平成 28 年度共同募金目標額について	運営委員 10 名 監事 2 名	阿児アリーナ
[第 4 回] 10 月 17 日	1. 運営委員 (補欠) の選任について	回答者 10 名	(書面運営委員会)
[第 5 回] 3 月 8 日	1. 運営委員 (補欠) の選任について 2. 平成 28 年度一般会計補正予算について 3. 平成 29 年度事業計画について	運営委員 11 名 監事 2 名	阿児アリーナ

	4. 平成 29 年度一般会計予算について		
--	-----------------------	--	--

(2) 監事監査会

期日	内容	出席者	開催場所
[第 1 回] 5 月 6 日	平成 27 年度決算監査（下記書類を中心に監査） ①平成 27 年度事業実施報告書 ②平成 27 年度財産目録、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書	監事 2 名	サンライフあご

(3) 一般募金

期間：10 月 1 日～12 月 31 日

[単位：円]

募金種別	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	666,700	739,947	1,089,280	1,515,041	1,021,391	5,032,359
法人募金	0	0	0	0	0	0
街頭募金	10,605	14,289	5,743	59,692	51,406	141,735
学校募金	0	0	8,018	0	1,705	9,723
職域募金	3,498	2,210	8,446	32,906	13,327	60,387
イベント募金	0	11,391	0	8,310	16,188	35,889
個人募金	0	0	3,260	0	0	3,260
その他	1,000	557	3,148	9,299	42,342	56,346
合計	681,803	768,394	1,117,895	1,625,248	1,146,359	5,339,699

[前年比：－184,624 円]

【一般募金の推移】

[単位：円]

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
一般募金	6,289,495	5,782,809	5,643,731	5,524,323	5,339,699

(4) 歳末たすけあい募金

期間：12 月 1 日～12 月 31 日

[単位：円]

募金種別	浜島支所	大王支所	志摩支所	阿児支所	磯部支所	合計
戸別募金	661,200	664,011	1,013,500	1,523,360	999,622	4,861,693
法人募金	102,000	232,500	113,000	167,744	259,000	874,244
街頭募金	0	0	0	8,551	8,760	17,311
学校募金	0	0	0	0	0	0
職域募金	0	0	0	2,283	0	2,283
イベント募金	0	0	0	0	0	0
個人募金	0	3,000	3,000	0	0	6,000
その他	0	0	1	3	0	4
合計	763,200	899,511	1,129,501	1,701,941	1,267,382	5,761,535

[前年比：＋107,657]

【歳末たすけあい募金の推移】

[単位：円]

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
歳末募金	5,471,617	5,771,933	5,585,875	5,653,878	5,761,535

7. 当事者団体の活動支援、協力

(1) 志摩市老人クラブ連合会・志摩市身体障害者福祉連合会等

志摩市老人クラブ連合会及び志摩市障がい者福祉会等の各種福祉団体の自主運営を支援しました。

期日	事業名	会場
10月6日	志摩市障がい者福祉体育大会	阿児アリーナ
10月20日	阿児町老人福祉大会	阿児アリーナ
11月8日	志摩市老人クラブ連合会スポーツ交流大会	磯部ふれあい公園
11月28日	浜島町敬老会	伊勢志摩ロイヤルホテル
12月15日	志摩市障がい者福祉大会 志摩市障がい者忘年芸能発表会	阿児アリーナ
2月16日	志摩市老人クラブ連合会役員研修会	阿児アリーナベイホール
3月6日	浜島町敬老会記念品送付作業	桧山路生涯学習センター

8. 事業評価と今後の課題 〔地域福祉活動推進事業〕

前年度まで各地区の拠点に配置していた担当者を削減し、本部に集中配置する新しい体制で今年度事業に取り組みました。体制変更で職員にも地域住民にも戸惑いや不安がありましたが、職員の不断の努力と地域住民の温かい力添えで、概ね前年度並みの事業成果を達成することができました。

第3次地域福祉（活動）計画の策定により、新年度から本格実施の地域支援コーディネーターによる地域支援の充実を目指した重点施策を掲げております。地域づくりと社協の地域支援事業を有効的に進めていく中で事業の統合整理、体制の見直しが必然となってきます。さらに加速して進む超高齢化社会に対応できるよう、地域支援の原点に立ち還りまずは新たな地域との信頼関係の構築を図り、地域住民の信頼と地域力の向上が得られるよう行動目標と事業目標の達成に向け邁進致します。

Ⅲ. 在宅福祉サービス事業

1. 介護保険サービス関係事業

(1) 居宅介護支援事業

事業内容	介護保険で要介護認定されたご本人及びご家族の依頼により利用者の心身の状態及び家庭の状況に応じて、利用者の希望に基づき、適切な介護サービスが総合的に受けられるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作
------	--

	成します。また要支援認定された方に対して、志摩市などからの委託により介護予防プランの作成も行います。
--	--

【月別ケアプラン作成件数】

	大王事業所		きらり事業所		磯部事業所		合計
	介護	予防※	介護	予防※	介護	予防※	
平成 28 年 4 月	341 件	18 件	2 件	0 件	416 件	20 件	797 件
5 月	342 件	18 件	2 件	0 件	413 件	20 件	795 件
6 月	334 件	20 件	2 件	0 件	416 件	22 件	794 件
7 月	331 件	20 件	2 件	0 件	418 件	23 件	794 件
8 月	328 件	23 件	1 件	0 件	407 件	29 件	788 件
9 月	334 件	23 件	2 件	0 件	404 件	31 件	794 件
10 月	334 件	27 件	1 件	0 件	414 件	31 件	807 件
11 月	328 件	28 件	1 件	0 件	417 件	31 件	805 件
12 月	335 件	28 件	1 件	0 件	428 件	30 件	822 件
1 月	338 件	29 件	0 件	0 件	423 件	28 件	818 件
2 月	326 件	30 件	0 件	0 件	421 件	25 件	802 件
3 月	328 件	29 件	0 件	0 件	427 件	28 件	812 件
事業所別合計	3,999 件	293 件	14 件	0 件	5,004 件	318 件	9,628 件
〔前年比〕	-247 件	165 件	-7 件	0 件	14 件	138 件	63 件

※予防に係るケアプラン策定事業については、志摩市以外に伊勢市東地区包括支援センター及び世田谷区より受託。

【認定調査取扱い件数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	
調査件数	1 件	6 件	6 件	1 件	2 件	2 件	
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
調査件数	3 件	6 件	7 件	10 件	9 件	10 件	63 件

※鳥羽志勢広域、伊勢市、度会広域、津市、中津川市、上尾市、京都市、名古屋市、三豊市いなべ市、尾張旭市より受託。（今年度より実施）

【年度別推移】

〔単位：収入／円，作成数／件〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
収入	147,909,040	148,688,120	144,380,790	149,330,020	148,911,920
延べ作成件数	10,117	10,198	9,922	9,565	9,628

(2) 訪問介護事業 ≪阿児事業所≫

事業内容	訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴・排泄・食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行ないます。
------	---

【月別延べ利用者数及び延べサービス提供時間数】

〔時間：分〕

	延べ利用者数	延べサービス提供時間数
--	--------	-------------

平成 28 年 4 月	2,289 名	2,061:15
5 月	2,354 名	2,108:15
6 月	2,282 名	2,130:15
7 月	2,360 名	2,128:00
8 月	2,529 名	2,283:15
9 月	2,251 名	1,991:15
10 月	2,232 名	1,991:30
11 月	2,114 名	1,891:15
12 月	2,173 名	1,973:45
1 月	2,112 名	1,930:15
2 月	2,007 名	1,831:45
3 月	2,140 名	1,963:45
事業所別合計	26,843 名	24,284:30
〔前年比〕	-4,103 名	-5,130:00

【年度別推移】 [単位 : 収入／円, 利用者数／名]

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
介護保険収入	122,736,864	109,291,307	97,267,434	88,243,911	73,746,410
延べ利用者数	42,153	39,499	33,942	30,946	26,843

(3) 訪問入浴介護事業 《阿児事業所》

事業内容	自宅の浴槽では入浴が困難な方に対して、看護師及び介護職員等が入浴車で訪問し、お部屋で入浴介助を行ないます。
------	---

【月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	105 名	102 名	130 名	125 名	129 名	118 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	118 名	114 名	108 名	99 名	99 名	96 名
延べ利用者合計	1,343 名			前年比 +13 名		

【年度別推移】 [単位 : 収入／円, 利用者数／名]

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
介護保険収入	27,258,970	22,083,320	21,316,190	16,995,270	17,146,310
延べ利用者数	2,134	1,735	1,660	1,330	1,343

(4) 通所介護事業

事業内容	デイサービスセンターまで通所していただき、食事や入浴の介護サービスや健康体操、レクリエーションなどを日帰りで行ないます。
------	--

【月別延べ利用者数】 (予防・基準該当生活介護含む)

	浜島事業所	大王事業所	阿児事業所	磯部事業所	合計
事業所利用定員	35 名	40 名	35 名	40 名	
平成 28 年 4 月	641 名	738 名	558 名	802 名	2,739 名
5 月	672 名	806 名	576 名	836 名	2,890 名
6 月	607 名	791 名	582 名	822 名	2,801 名

7月	606名	792名	619名	835名	2,853名
8月	612名	746名	661名	842名	2,857名
9月	612名	726名	664名	785名	2,787名
10月	597名	786名	640名	814名	2,837名
11月	610名	830名	667名	807名	2,914名
12月	569名	743名	583名	745名	2,640名
1月	609名	741名	597名	748名	2,695名
2月	603名	704名	628名	671名	2,606名
3月	725名	759名	702名	818名	3,004名
事業所別合計	7,463名	9,158名	7,477名	9,525名	33,623名
〔前年比〕	-236名	849名	740名	317名	1,670名
サービス提供日数	307日	308日	308日	308日	
1日平均	24.3名	29.7名	24.3名	30.9名	

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
収入	310,271,706	312,426,429	283,839,718	275,287,149	282,308,956
延べ利用者数	35,507	35,534	32,345	32,116	33,623

(5) 福祉用具貸与事業 《阿児事業所》

事業内容	個人では購入しづらい福祉機器を貸し出したり、販売することによって、在宅の環境を整え、在宅での生活と介護を支援します。
------	--

【月別延べ利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
貸与利用者数	11名	13名	13名	13名	12名	10名
販売利用者数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	11名	13名	13名	13名	12名	10名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
貸与利用者数	10名	10名	10名	11名	11名	11名
販売利用者数	0名	0名	0名	0名	0名	0名
合計	10名	10名	10名	11名	11名	11名
利用者合計	貸与		146名〔前年比 -41名〕			
	販売		0名〔前年比 0名〕			

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
介護保険収入	3,012,140	3,425,730	2,702,210	2,568,880	1,965,290
延べ利用者数	251	279	209	187	146

(6) 訪問看護事業 《阿児事業所》

事業内容	看護師等がご自宅まで訪問して、主治医の指示により、療養のお世話や
------	----------------------------------

	必要な診療の補助を行ないます。また一部病状によっては医療保険の対象になります。
--	---

【月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
介護保険	181 名	179 名	186 名	187 名	193 名	191 名
医療保険	60 名	63 名	57 名	61 名	64 名	55 名
合計	241 名	242 名	243 名	248 名	257 名	246 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
介護保険	190 名	190 名	168 名	153 名	146 名	162 名
医療保険	55 名	57 名	51 名	54 名	47 名	35 名
合計	245 名	247 名	219 名	207 名	193 名	197 名
延べ利用者数 合計	介護保険		2,126 名〔前年比 －204 名〕			
	医療保険		659 名〔前年比 ＋233 名〕			

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
介護保険収入	20,360,450	18,298,620	15,465,050	13,764,090	12,643,660
医療保険収入	2,803,540	3,565,900	3,870,890	3,867,980	5,887,030
延べ利用者数(介)	3,187	2,904	2,493	2,330	2,126
延べ利用者数(医)	311	408	437	426	659

2. 障がい福祉サービス関係事業

(1) 障がい者ヘルパーセンター事業（ヘルパーセンターあんず≪阿児事業所≫）

事業内容	自立支援給付：訪問介護員（ホームヘルパー）がご自宅まで訪問して、入浴、排泄、食事等の介護やその他の日常生活上の援助を行なっています。 移動支援：志摩市からの委託により、社会参加等の支援を行っています。
------	---

【月別延べ利用者数】

〔時間：分〕

	自立支援給付（居宅、重度訪問、同行援護）		受託事業（移動支援）	
	延べ利用者数	延べ提供時間数	延べ利用者数	延べ提供時間数
平成 28 年 4 月	542 名	808 : 00	39 名	84 : 45
5 月	543 名	779 : 15	29 名	64 : 30
6 月	561 名	829 : 00	31 名	63 : 30
7 月	564 名	841 : 15	41 名	90 : 30
8 月	543 名	788 : 30	34 名	75 : 15
9 月	557 名	810 : 15	33 名	75 : 15
10 月	585 名	825 : 45	33 名	85 : 30
11 月	580 名	823 : 30	32 名	85 : 00
12 月	513 名	704 : 30	26 名	62 : 30
1 月	504 名	718 : 45	29 名	75 : 30

2 月	498 名	721 : 00	27 名	52 : 00
3 月	561 名	796 : 00	31 名	65 : 30
合計	6,551 名	9,445 : 45	385 名	879 : 45

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
延べ利用者数	581 名	572 名	592 名	605 名	577 名	590 名
述べ提供時間	892 : 45	843 : 45	892 : 30	931 : 45	863 : 45	885 : 30
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ利用者数	618 名	612 名	539 名	533 名	525 名	592 名
述べ提供時間	911 : 15	908 : 30	767 : 00	794 : 15	773 : 00	861 : 30
延べ利用者数 合計	6,936 名 〔前年比+145 名〕		述べ提供時間 数合計	10,325 : 30 分 〔前年比+118 : 00 分〕		

【年度別推移】 [単位 : 収入／円, 利用者数／人]

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
自立支援費等収入	33,982,720	31,994,920	30,940,541	35,119,647	35,972,363
延べ利用者数	7,678	7,017	7,400	6,791	6,936

(2) 障がい者生活介護センター事業

事業内容	施設まで通所していただき、常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護等を行なうとともに、創作的活動または生産活動の機会を提供しています。
------	--

【月別延べ利用者数】

	生活介護センター きらり【阿児】	生活介護ステーション さくら苑【浜島】	生活介護ステーション えりはら【磯部】	合計
平成 28 年 4 月	487 名	182 名	—	669 名
5 月	454 名	170 名	—	624 名
6 月	515 名	186 名	13 名	714 名
7 月	483 名	178 名	11 名	672 名
8 月	516 名	197 名	32 名	745 名
9 月	470 名	173 名	25 名	668 名
10 月	471 名	182 名	25 名	678 名
11 月	473 名	178 名	27 名	678 名
12 月	479 名	168 名	30 名	677 名
1 月	468 名	160 名	28 名	656 名
2 月	505 名	164 名	27 名	696 名
3 月	547 名	180 名	32 名	759 名
合計	5,868 名	2,118 名	250 名	8,236 名
〔前年比〕	+31 名	-151 名	+250 名	+130 名

【年度別推移】 [単位 : 収入／円, 利用者数／人]

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
自立支援費等収入	70,162,032	70,343,309	80,104,690	82,005,406	88,145,423
延べ利用者数	7,469	7,527	8,313	8,106	8,236

(3) 日中一時支援事業

事業内容	障がいのある人の日中の活動の場を確保し、その家族の就労を支援して、一時的な休息の場を提供しています。
------	--

【月別延べ利用者数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	合計
利用者数	15 名	8 名	11 名	13 名	14 名	13 名	74 名
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	12 名	11 名	6 名	12 名	12 名	12 名	65 名
延べ利用者数合計			延べ利用者数合計 139 名（前年比 - 57 名）				

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
事業等収入	1,168,149	544,645	472,746	464,980	296,526
延べ利用者数	468	232	205	196	139

(4) 障がい児童デイサービスセンター事業

事業内容	障がい児に日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等を行なっています
------	--

【月別延べ利用者数】

	浜島・くれよん	大王・ゆうゆう	合計
平成 28 年 4 月	161 名	96 名	257 名
5 月	146 名	73 名	219 名
6 月	190 名	91 名	281 名
7 月	160 名	101 名	261 名
8 月	165 名	139 名	304 名
9 月	167 名	68 名	235 名
10 月	158 名	73 名	231 名
11 月	156 名	80 名	236 名
12 月	165 名	93 名	258 名
1 月	150 名	86 名	236 名
2 月	162 名	100 名	262 名
3 月	171 名	121 名	292 名
合計	1,951 名	1,121 名	3,072 名
〔前年比〕	- 482 名	- 372 名	- 854 名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
自立支援費等収入	37,725,002	36,443,897	35,637,539	30,944,863	25,829,864
延べ利用者数	4,297	4,031	3,850	3,926	3,072

(5) 就労支援事業

〈1〉事業実施状況

①就労継続支援B型事業

事業内容	一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行ないます。
------	--

【月別延べ利用者数】

障がい者支援施設名	障がい者支援施設 はばたき	障がい者支援施設 あいのその	障がい者支援施設 えりはら	合計
事業所の定員	20 名	20 名	40 名	
平成 28 年 4 月	436 名	265 名	610 名	1,311 名
5 月	406 名	279 名	555 名	1,240 名
6 月	443 名	296 名	655 名	1,394 名
7 月	399 名	263 名	591 名	1,253 名
8 月	448 名	270 名	617 名	1,335 名
9 月	398 名	255 名	589 名	1,242 名
10 月	411 名	250 名	584 名	1,245 名
11 月	412 名	258 名	580 名	1,250 名
12 月	383 名	259 名	565 名	1,207 名
1 月	402 名	238 名	482 名	1,122 名
2 月	428 名	253 名	532 名	1,213 名
3 月	445 名	268 名	600 名	1,313 名
合計	5011 名	3154 名	6960 名	15,125 名
〔前年比〕	+22 名	-385 名	-680 名	-1,043 名

【年度別推移】

〔単位：収入／円，利用者数／人〕

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
就労支援事業収入	39,037,537	36,497,402	38,610,819	40,531,952	47,638,907
自立支援費等収入	142,297,880	149,491,030	150,457,329	138,519,763	135,731,821
延べ利用者数	16,912	18,039	17,588	16,168	15,125

②就労移行支援事業・就労継続A型事業（9月より事業開始）

事業内容	就労移行支援事業	一般就労に向けて必要な知識・能力を養い、本人の適性に見合った職場への就労と定着を目指します。			
	就労継続A型事業	就労を希望する65歳未満の障がいのある方に対して、雇用契約に基づく生産活動を行い、一般就労への移行を目指します。			
		平成 27 年度		平成 28 年度	
就労支援事業収入		209,890 円		10,269,034 円	
自立支援費等収入		1,556,410 円		10,461,611 円	

【月別延べ利用者数】

障がい者支援 施設名	就労移行支援事 ひまわり	就労継続A型事業 ひまわり	合計
事業所の定員	10 名	10 名	
平成 28 年 4 月	19 名	名	19 名
5 月	19 名	名	19 名
6 月	63 名	名	63 名
7 月	59 名	名	59 名
8 月	63 名	名	63 名
9 月	59 名	50 名	109 名
10 月	68 名	36 名	104 名
11 月	79 名	20 名	99 名
12 月	92 名	19 名	111 名
1 月	67 名	19 名	86 名
2 月	90 名	20 名	110 名
3 月	102 名	22 名	124 名
合計	780 名	186 名	966 名
〔前年比〕	+626 名	186 名	+812 名

〈2〉就労支援事業内容

中心施設	付属作業場	作業内容等	備考
障がい者 支援施設 はばたき 利用者 27 名	福祉農園	農園芸作業・食品加工・販売活動 ※本体施設内	花卉園芸作業 野菜づくり等
	菓子工房 エスパス	クッキー・ケーキ作り、販売 ※本体施設内	菓子製造作業
	味処 はばたき	飲食店・レストラン経営 ※市役所本庁舎	飲食・弁当仕出し ケーキ等販売
	福祉市場 レインボー	地場産品直売所運営、受託販売 ※市役所横直売店舗	農産品 水産加工品 鮮魚販売
	その他	受託建物清掃・公園清掃作業	県道公園清掃
障がい者 支援施設 あいのその 利用者 19 名	本体施設	真珠商品・ビーズ商品作成販売 EM関連商品作り・販売、清掃作業 ミニ畳、手編みマットの作成・販売 リサイクル作業（資源回収選別） 鮮魚販売	自主製品販売、道 の駅・ホテル等へ の委託販売
	味工房 ともやま	関係施設の給食調理・運搬 高齢者食事サービス弁当調理 観光客向け飲食店・調理業務	野外活動センタ ーとの連携業務 シルバー人材と の連携
障がい者 支援施設 えりはら 利用者 32 名	本体施設	パン製造・販売販 自主製品（手芸・紙すき製品等作成） 電器会社等受託作業 農園芸作業	毎月フェアパン 販売・会社、サロ ン等で販売
	ひかり 作業場	電器会社等受託作業 リサイクル作業（資源回収）	志摩市のリサイ クル活動事業所 として登録

障がい者就労 支援事業所 「ひまわり」 (多機能型)	就労移行支援 5名	喫茶業務、間崎ショップ仕入・販売 清掃作業、就労訓練（畑、買い物他） 水産業（牡蠣清掃他委託、牡蠣・真珠 養殖業）	地域事業と連携し た取り組み
	就労継続支援 A型事業所 1名	清掃作業 水産業（牡蠣清掃他委託）	9月より事業開始

〈3〉その他

① 障がい者支援施設はばたき

- ・平成26年度末より、生活困窮自立支援の事業との共同で生活困窮者の実習の受け入れをしています。
- ・職場体験や実習等の受け入れを行ない、地域住民との交流の機会を大切にしています。
- ・伊勢志摩サミットの警察宿舎のトイレ清掃を担当しました。
- ・市内のイベントや事業所等への移動販売を通して地域との交流の機会をつくっています。
- ・遠足等のレクリエーション、イエローレシート活動等を行っています。
- ・水産業と福祉の連携事業として、かき網の修繕作業や海藻を練りこんだクッキーを販売しています。

② 障がい者支援施設あいのその

- ・建物の老朽化に伴い、平成28年3月末でつばさ作業場（従たる施設）を廃止し、4月より「あいのその作業場」で事業を行っています。
- ・サミットまでの警備期間中、仮設トイレの清掃作業を行いました。
- ・地域の方々の協力のもとで、リサイクル活動、イエローレシート活動を継続しています。
- ・地域の中学生との交流会、夏休みには、大王、志摩地区小学生との交流会（地域福祉事業）を行いました。
- ・地域行事に参加し、地域との交流をしています。

③ 障がい者支援施設えりはら

- ・平成28年6月より生活介護事業所開設
- ・市内のイベントや青空市、サロン、学校等でのパンやプールの販売を通して、地域との交流の機会をつくっています。
- ・伊勢志摩サミット警察宿舎のトイレ清掃を担当しました。
- ・磯部小学校と年間を通じて交流しています。
- ・遠足等のレクリエーション、イエローレシート活動等を行っています。
- ・水産業と福祉の連携事業としてかき清掃の作業を行っています。

④ 障がい者就労支援事業所「ひまわり」

- ・7月 A型利用者の求人募集、9月より雇用を開始。
- ・水産業を主に作業を行い、障がい者の一般就労を目的とし事業に取り組んでいます。

県の水福連携モデル事業の継続として、牡蠣、真珠養殖に取り組んでいます。

- ・間崎地域では地域福祉事業と共同で、ショップの運営を行っています。日用品、食品等の販売の他、えりはらパンの販売。地域の方が集える場所としてサロン活動も行っています。サロンで作成した、エコバック等は地域のイベントで販売も行いました。

3. ふくし移送サービス事業〔福祉有償運送事業〕

(1) 公的介護サービスにともなう移送サービス事業（独自事業）

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者や障がい者に対して、福祉車両を用いて通院など（介護保険、障がい自立支援法に基づく通院介助）を支援しました。

(2) 外出支援サービス事業〔志摩市より受託〕

一般の公共交通機関を利用して移動することが困難な高齢者等に対して、福祉車両を用いて定期的な通院など（市の要綱に基づく外出）を支援しました。

(3) ふくし移送サービス事業（独自事業）

公共交通機関、介護保険、その他公的福祉サービスを利用できない介護・介助が必要な方に対して、福祉車両を用いて買い物や通院などの外出を支援しましたが、利用者の減少に伴い、8月末日を持って廃業いたしました。

【ふくし移送サービス事業の利用状況】

	(1) 介護一体型	(2) 外出支援	(3) その他一般型	合計
延べ利用回数	735 回	216 回	171 回	1,122 回
〔前年比〕	－51 回	－93 回	－406 回	－550 回

【年度別延べ利用回数推移】

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
介護一体型	1,172 回	1,122 回	1,018 回	786 回	735 回
外出支援	280 回	273 回	338 回	309 回	216 回
その他一般型	2,900 回	2,036 回	974 回	577 回	171 回
合計	4,122 回	3,488 回	2,369 回	1,933 回	1,122 回

4. 事業評価と今後の課題〔在宅福祉サービス事業〕

居宅介護支援においては、利用者数は微増になったものの介護認定更新において介護度が軽くなる傾向にあり、要支援の方が多くなったため収入減となりました。しかしながら、認定調査や障がいの計画相談等の業務は増えており、トータルとして当初予算より増額となっています。きらりの事業所については職員兼務の関係により1月末で休止としました。訪問介護においては、以前からの課題であった人材確保が困難であった為、利用者の増加にはつながりませんでしたが、障がいヘルパーの利用者が増加したこと、シフトを見直す事で効率の良い訪問を提供できたと思えます。訪問入浴においては、終末期の利用者が増え、利用者増にはなっていますが、長期利用が見込めないのが現状です。また、日本財団等から寄贈を受けた、入浴車輛の老朽化が大きな課題となっております。

り、早急に手立てが必要な状況です。訪問看護においては、看護師の退職等があり、その後人材確保が困難な状況となりましたが、ヘルパー同様シフトを見直すことで効率の良いサービスを提供できたと思えます。また、今後利用者増が見込まれる精神疾患患者受け入れの為の研修会にも積極的に参加し、スキルの向上に努めました。移送サービスにおいては、利用者減に伴い、社協独自事業である一般移送サービスを8月末日で廃業いたしました。廃業に伴い、利用者への説明、理解を得ることで混乱なく他サービスへの移行を行うことができました。また、市からの受託事業である外出支援サービス事業で使用する専用車両の老朽化が大きな課題となり、事業の継続についても協議が必要な時期となっています。通所介護においては、27年度7月より祝日営業を実施したため利用者数は増えている事業所が多く、1日平均利用者を27年度と比較しても増えています。しかしながら事業を開始してから約20年が経過しており、どの施設も空調設備等の故障が目立ってまいりました。また、車輛についても同じことが言えます。優先順位をつけて取替や修繕を行なっていく必要があります。全ての事業において、サービスの提供はもとより、職員のスキルアップ、技術の向上を図り、利用者を選んでもらえる事業所として、居宅介護支援事業者との連携を密にするなど今後も利用者増や増収を図るため、また経費削減にも目を向け取り組んでいく必要があります。さらには、事業の縮小や統廃合等を視野に入れながら新たな取り組みや業務を兼務するなどして効率化を図るよう努めていきます。また、パート職員の高齢化に伴い後継者不足が懸念されています。処遇改善手当により賃金もアップしましたが、人材不足は解消されません。引き続きハローワーク等を通じて人材確保に努めていきます。

障がい福祉サービスにおいては、今年4月より、障害者差別解消法が実施され、障がいのある方の社会的障壁を取り除くための合理的配慮が、法的義務（行政機関）、努力義務（民間事業者）化され、障がい福祉課内においても意識されつつあります。9月には、就労継続支援A型事業所も開始され、就労系サービスは、整いました。

一方、合併前のニーズに応じて多様な体制を確保してきましたが、事業所の増加など利用選択が広がった事による運営上の課題や多様な就労サービスは整ったというもののその内容（一般就労、工賃向上、訓練内容等）と日中活動の希望（過ごし場・創作活動）に関する調整、さらに障がい特性への対応（精神障がい、行動障がい）等の課題背景があり、次年度より障がい福祉サービス事業を大きく組み換えるために、利用者、ご家族、福祉関係団体と調整を行って来ました。

今後は、組織の再編成を受け、引き続き利用者に適したサービスを提案するとともに、効率性や加算体制にも目を向け、事業全体を把握しながらさらなる収支改善に努めていきます。